

三浦半島地域活性化協議会による三浦半島の交流人口促進事業

「デジタルみさきまぐろきっぷを使って三浦半島に行こう！」

を実施します！

京急電鉄が構成団体である三浦半島地域活性化協議会は、三浦半島の交流人口促進事業として、「デジタルみさきまぐろきっぷを使って三浦半島に行こう！」を実施します。

■「デジタルみさきまぐろきっぷを使って三浦半島に行こう！」

- ・対象期間：2024年5月27日（月）～2024年7月31日（水）
- ・事業概要：対象期間中に京急電鉄で発売している「デジタルみさきまぐろきっぷ」を利用し、自身のInstagramに「#三浦半島地域活性化協議会」とタグ付けした写真を投稿のうえ、専用の応募フォームから応募した方の中から、抽選で50名様に三浦半島の特産品である葉山マーロウの「葉山ボーロ」をプレゼントする。

※デジタルみさきまぐろきっぷの購入につきましては、

京浜急行電鉄株式会社のホームページまたは、三浦 newcal のサイトからご確認ください。

みさきまぐろきっぷページ

[https://www.keikyu.co.jp/visit/otoku/otoku\\_maguro/index.html](https://www.keikyu.co.jp/visit/otoku/otoku_maguro/index.html)

三浦 newcal みさきまぐろきっぷ購入ページ

<https://newcal.jp/tickets/ot002/>

■事業実施の背景

神奈川県発表の令和4年神奈川県入込観光客調査結果によると、神奈川県観光事業は、新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年）の8割まで回復し前年比+39.9%とのことですが、三浦半島エリアは前年比+23.7%の水準に留まっています。また、横須賀三浦地域の人口増減率は、県内で最も低い水準にあります。

2016年から三浦半島地域の活性化に取り組んでいる当協議会では、このような状況の解決策の一つとして、三浦半島の交流人口増加を目指し地域活性化につなげる各種施策を検討、今回、「デジタルみさきまぐろきっぷを使って三浦半島に行こう！」を実施することとしました。

## ■本事業の特徴

### ◎産学官金言連携による事業実施

本事業は、三浦半島地域の活性化を目指す7団体とオブザーバーで構成する産学官金言の連携による事業です。その構成団体の一つであり、三浦半島の大動脈でもある京浜急行電鉄が提供するデジタルみさきまぐろきっぷをベースに、構成団体がそれぞれ協力し、事業を実施します。

### ◎若者の発信力を生かした情報発信

本事業は、当協議会に参画する大学やその他の大学生をターゲットとして実施。若い世代を中心にインスタグラムへの投稿を呼びかけます。三浦半島定番のスポットはもちろん、隠れたスポットや新たな魅力をインスタグラムに投稿してもらうことで、三浦半島の魅力を広く発信します。

### ◎特産品のPR

インスタグラム投稿への特典として地域の特産品の抽選を実施。ビーカープリンで有名なマールウがつくる焼き菓子「葉山ポーロ」のPRにもつなげます。



△告知チラシイメージ

今後も三浦半島地域活性化協議会では、三浦半島地域の活性化をめざし、構成団体が持つ技術や知識・知恵を融合させ、地域に提供してまいります。

以上

(ご参考)

### 三浦半島地域活性化協議会とは…

2016年4月に組成した広域連携組織。構成団体は「かながわ信用金庫」「株式会社神奈川新聞社」「関東学院大学」「京浜急行電鉄株式会社」「三浦商工会議所」「横須賀商工会議所」「横浜市立大学」の7者。その他にオブザーバーとして「神奈川県」「株式会社日本政策金融公庫」「財務省関東財務局横浜財務事務所」「横須賀市」「三浦市」が参加している。

これまでにシンポジウムや学生を対象とした体験型ワークショップ、トライアルステイとインターンを掛け合わせた体験型プログラム、創業塾等を開催するなど、構成団体の持つ資源や知恵を活かし、三浦半島地域の活性化に向けた様々な活動を展開している。

〈本件に関するお問い合わせ〉

○かながわ信用金庫（三浦半島地域活性化協議会事務局）

顧客サポート部 田中

TEL：046-821-1733（ダイヤルイン）